

ニセコ町
- 地域経済循環マップ分析 -

FOR DISCUSSION
DRAFT
PURPOSES ONLY

地域経済循環マップとは

地域経済循環マップ

都道府県・市町村単位で地域のお金の流れを生産、分配、支出の3段階で「見える化」することができます

【主な構成】

■ 地域経済循環図

- 地域経済循環の概略を示すもので、地域の経済の全体像と生産・支出・分配の各段階におけるお金の流出・流入の状況を把握することができます
- 地域経済分析のためのカルテのようなものと言えます

■ 生産(付加価値額)の分析

- 地域の経済を生産面で支えている産業が何か、各産業の労働生産性はどの程度で、それが他地域と比較して優位といえるのかを把握することができます

■ 分配(所得)の分析

- 地域内の住民や企業の所得、それらの流出入状況や他地域と比較した所得水準の優位性等を把握することができます

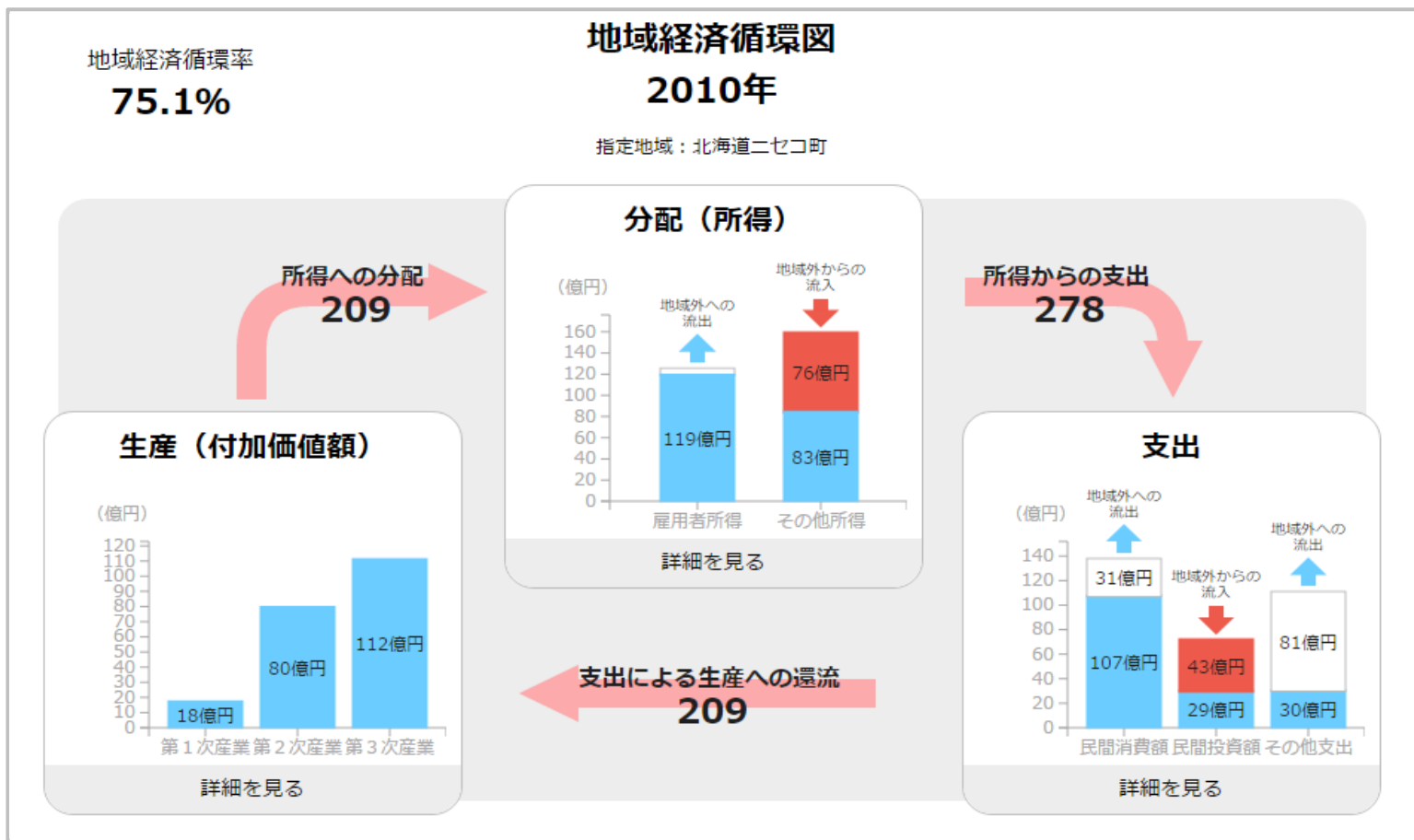
■ 支出の分析

- 地域における民間消費額、民間投資額、それらの流出入状況等を把握することができます

地域経済循環図

【ニセコ町地域経済循環図】地域経済循環図により、ニセコ町の地域経済の全体像及び各段階(生産、分配、支出)におけるお金の流出入状況を把握できます

地域経済循環図



注) 端数調整のため、一部合算値に相違有。

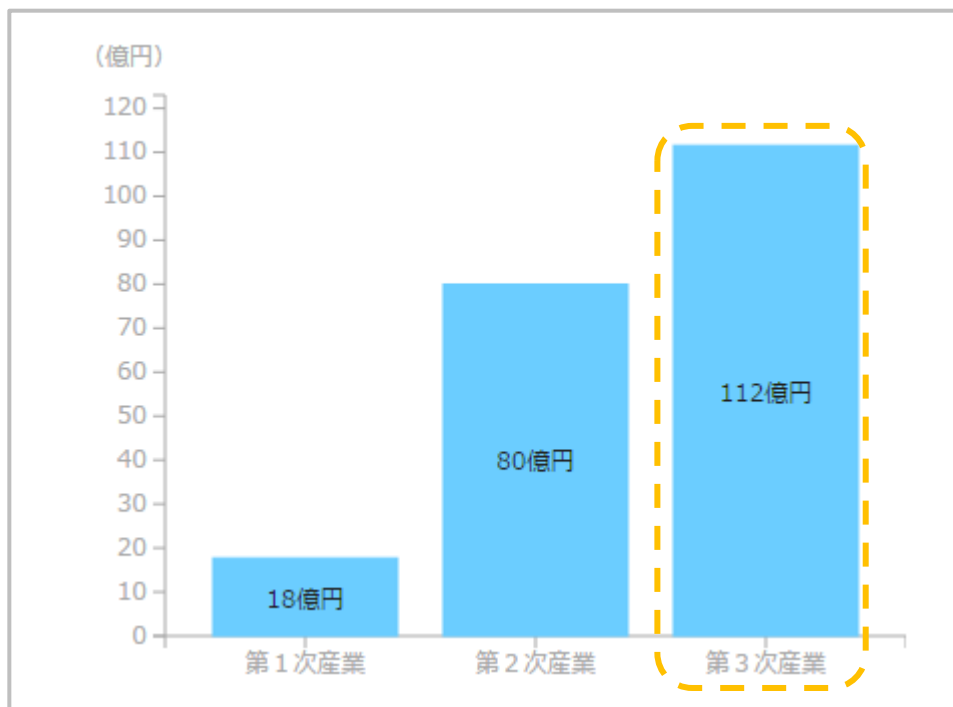
出所： 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS (地域経済分析システム)を使用

【ニセコ町地域経済の生産面】

総生産額(付加価値額)は209億円で、第3次産業の生産額が大きくなっています

生産面(付加価値額)



	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	369万円	3,574万円	711万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	151位	12位	1,356位

傾向

- 第1次産業の生産額は18億円です。当該産業の従業者1人当たりの付加価値額は369万円で、151位(全国1,741市区町村において)となっています
- 第2次産業の生産額は80億円です。当該産業の従業者1人当たりの付加価値額は3,574万円で、12位(全国1,741市区町村において)となっています
- 第3次産業の生産額は112億円です。当該産業の従業者1人当たりの付加価値額は711万円で、1,356位(全国1,741市区町村において)となっています

注) 第1次産業: 農林水産業
第2次産業: 建設業、電気機械、その他の製造業等
第3次産業: サービス業、不動産業、卸売・小売業等

分析ポイント

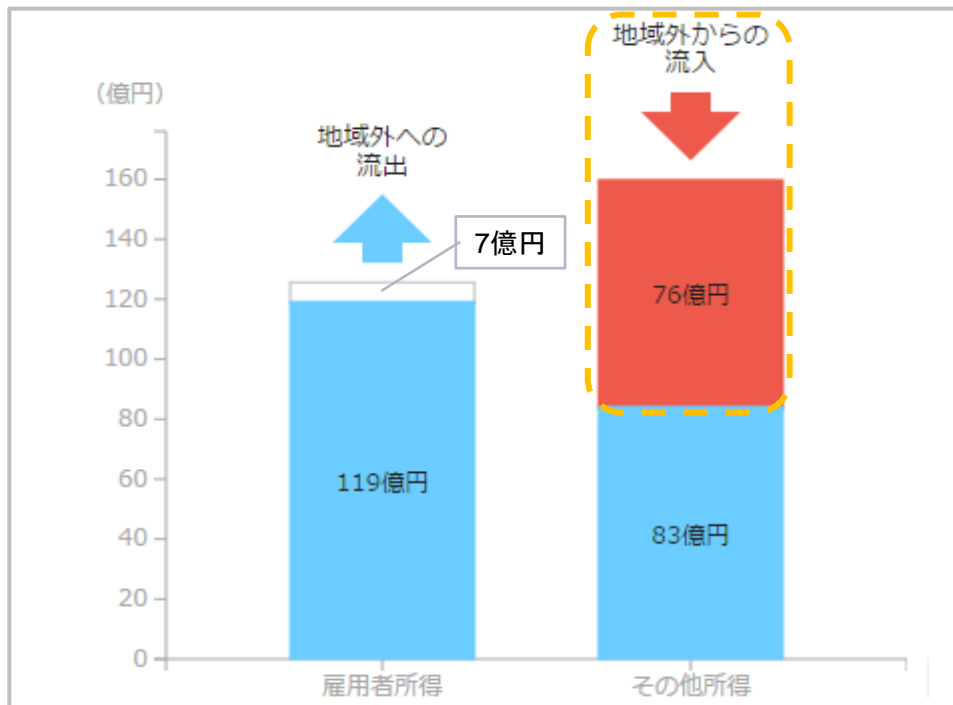
- 第2次産業は他市区町村と比較して、労働生産性(従業者1人当たり付加価値額)が高くなっています。2次産業の内訳としては、建設業が90%以上を占めており(p16参照)、一方で従業者が162人と少ないため、結果として第2次産業全体の一人当たり付加価値額を高めていると想定されます
- ニセコ町は第3次産業の生産額が最も大きくなっており、その内訳としてはサービス業が半分近くを占めています(p17参照)

出所: 環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【ニセコ町地域経済の分配面】 ニセコ町外からその他所得を獲得しています

分配面(所得)



	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	512万円	331万円
所得 (一人当たり) 順位	117位	225位

傾向

- 雇用者所得のうち、ニセコ町内の住民・企業等(どこで働いているかは問はない)に分配された所得は119億円で、一方ニセコ町外には7億円流出しています。これは、ニセコ町内で働く人の一部に、ニセコ町外から通勤して所得を得ている人がいるということを示します
- ニセコ町内に分配されたその他所得は159億円で、その半分近く(76億円)がニセコ町外から流入しています(=ニセコ町外からその他所得を獲得しているということ)

注) 雇用者所得: 主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等
その他所得: 財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等

分析ポイント

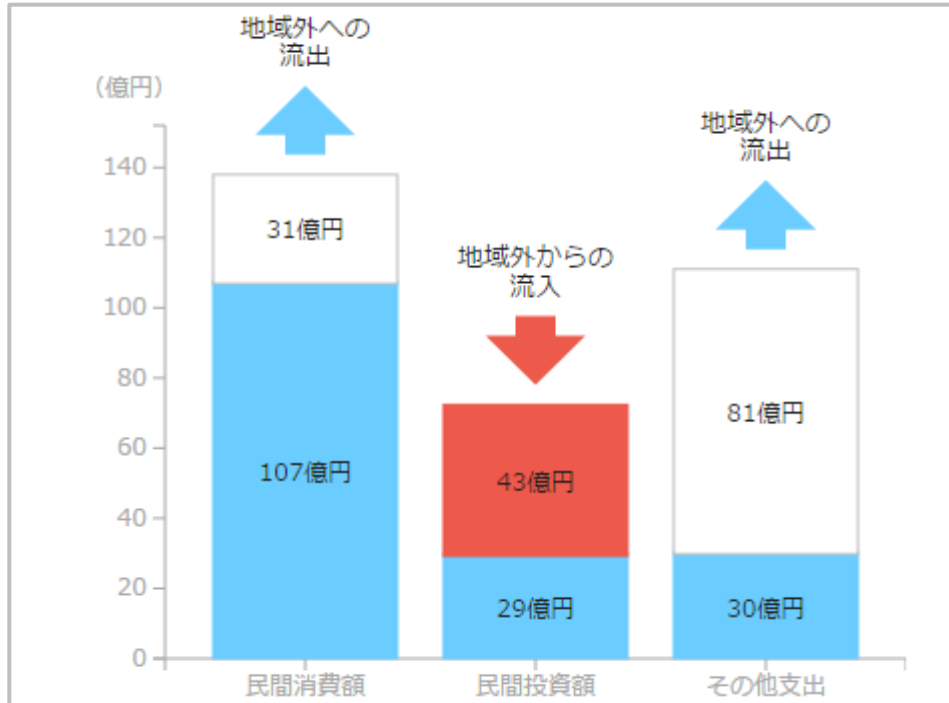
- 一人当たり雇用者所得は512万円で、117位(全国1,741市区町村において)となっており、他市区町村と比較して優位であるといえます
- 一人当たり雇用者所得が高いのは、雇用者所得の内訳としては、建設業が最も大きく(p22参照)、一方で従業者が162人と少ないため、結果として雇用者所得全体の一人当たり雇用者所得を高めていると想定されます

出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【ニセコ町地域経済の支出面】ニセコ町外から民間投資を獲得する一方で、民間消費、その他支出は町外に流出しています

支出面



	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出率	-29.1%	59.6%	-272.6%
支出流出率 順位	1,424位	9位	1,234位

注) 支出流出率とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合。プラスだと地域外からの流入、マイナスだと地域外への流出。
出所：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS (地域経済分析システム)を使用

傾向

- 民間消費額138億円のうち、ニセコ町内で消費された額は107億円で、31億円がニセコ町外に流出しています(=ニセコ町外で消費をしている)
- 民間投資額72億円のうち、ニセコ町外から流入した投資額は43億円で約6割を占めており(=ニセコ町外から投資を呼び込んでいる)
- その他支出111億円のうち、ニセコ町内に支出された金額は30億円で、残りの81億円はニセコ町外に流出しています

注) 民間消費額 : ニセコ町住民の消費等
民間投資額 : 企業の設備投資、在庫投資等
その他支出 : 政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等
移輸出入収支額: 域外への移出・輸出に伴う収入額から、域外からの移入・輸入に伴う支出額を差し引いたもので、プラスの場合は域外からのお金の獲得を、マイナスの場合は域外へのお金の流出を意味します

分析ポイント

- ニセコ町外からの民間投資が多い要因としては、ニセコ町の豊かな自然環境を背景とした、町外ホテル・リゾート開発業者による投資がされていることが想定されます
- 一方で、民間消費、その他支出についてはニセコ町外に支出が流出してしまっており、ニセコ町内で消費及び支出を受け止めきれないことが分かります

【ニセコ町地域経済循環図】

地域経済循環図の分析結果より仮説シナリオを立て、施策・事業案を導出しました

分析結果からの施策・事業案

地域経済循環図の分析結果

【生産(付加価値額)】

- 町内の一人当たり付加価値額(生産額)は、2次産業が全国12位と高位であり、2次産業の90%は建設業

【分配(所得)】

- 町内の一人あたり雇用者所得は、全国117位であり、建設業だけで見ると全国2位(3,500万円/人)

【支出】

- 町内の民間投資額は、全国9位であり、約60%は町外からの投資(43億円)

【影響力・感応度分析】

- 影響度・感応度分析では、建設業は双方低い(建設業が他産業に与える影響、他産業から受ける影響が低い)(p20参照)

仮説シナリオ

- ニセコ町外のホテル・リゾート開発業者による投資により、ニセコ町内の建設業が潤い、その結果として雇用者所得が高まっている(※建設業の一人当たり雇用者所得:全国2位、北海道1位)
- 一方で、影響力・感応度分析によると(p20参照)、建設業のニセコ町内への経済波及効果は低く、閉鎖的な業界と考えられる
- また、ハローワークデータの分析より建設業の有効求人倍率は二番目に低く、雇用創出がされていないことも伺える

地域経済戦略への施策・事業案

【施策レベル】

- 所得の高い建設業の雇用創出
→それに伴う新規就労者の移住促進

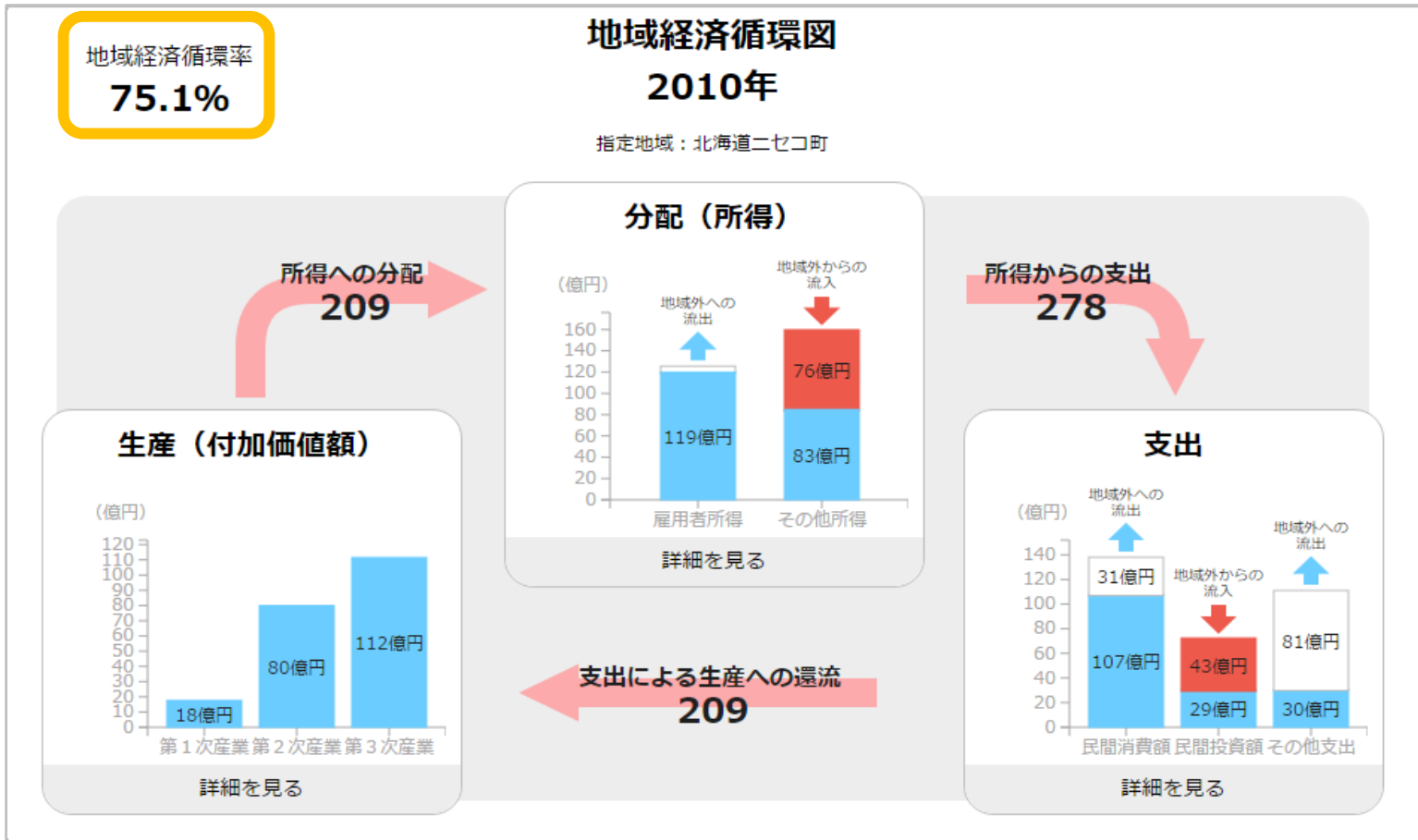
【事業レベル】

- 域内建設業者の就労・雇用状況およびホテル・リゾート開発における商流(下請け状況)の実態調査
- 調査結果を受けての建設業への就労・移住PR事業
- 町内建設業界への雇用促進支援(補助金など)

【ニセコ町地域経済の概要】

地域経済循環率により、地域経済の自立度を把握することができます

地域経済循環率*



■ 地域経済循環率により、地域内で生み出された所得がどの程度地域内に還流しているかを把握することができます

■ ニセコ町の場合、約25%の所得が町外から流入しており、町外から所得を獲得できています

■ 一方で見方を変えると、約25%は町外からの所得に依存していると言い換えることもできます

※ただし、その所得の内訳は公開されていないため詳細は不明であり、約25%のその所得を町外から獲得できていること、もしくは依存していることが良いか悪いかRESASのデータ分析上説明し兼ねる

注) 地域経済循環率とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示しています(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高いといえます)各自治体ごとの特徴を表すものであり、他の自治体と比較して数値が高いか低いかを議論するものではない。(参考)北海道(85.7%)、札幌市(95.9%)、倶知安町(103.3%)、蘭越町(49.1%)

出所：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

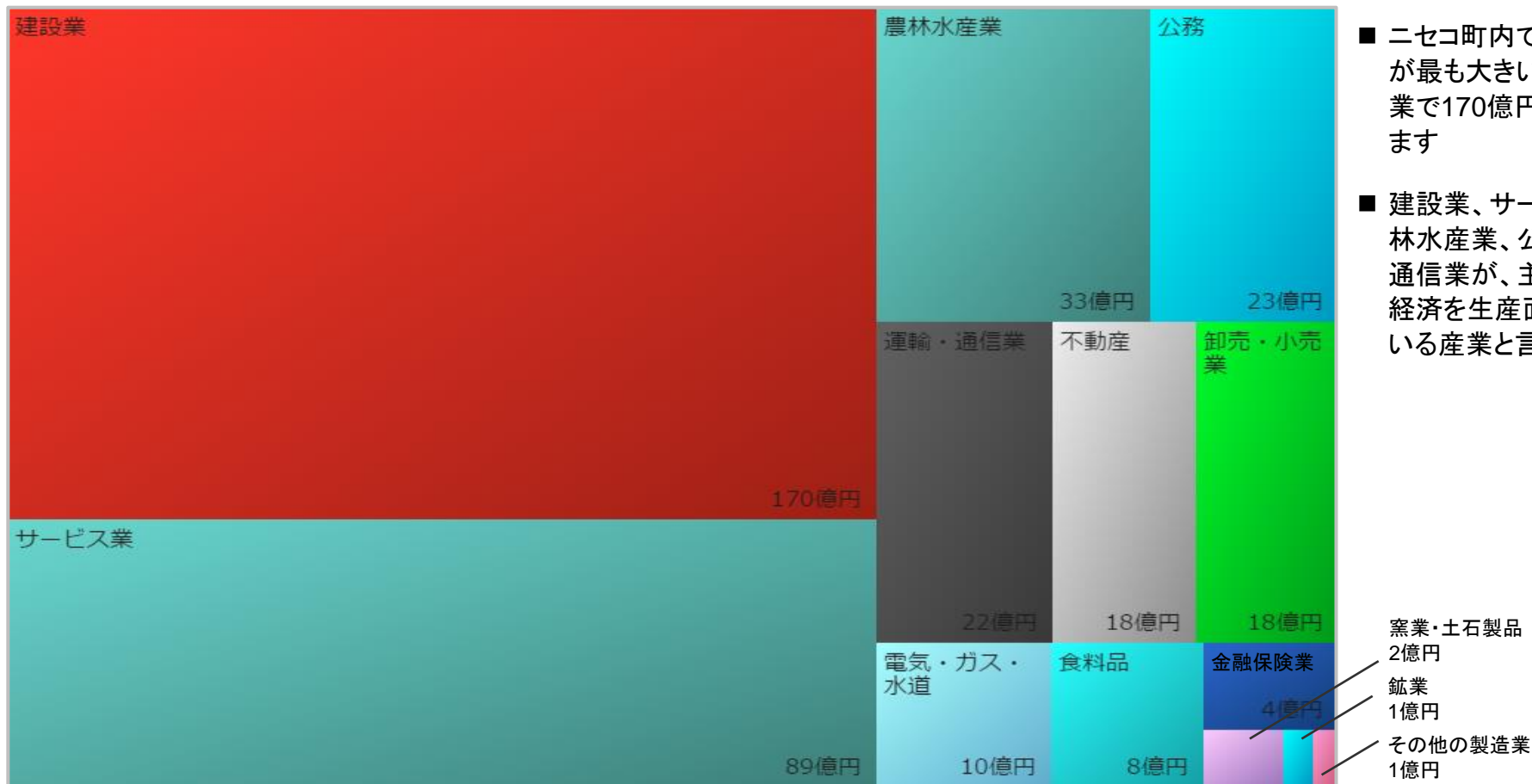
※RESAS(地域経済分析システム)を使用

生産分析

【生産分析】

ニセコ町で最も総生産額が大きい産業は、建設業となっています

地域内産業の構成(総生産額)



■ ニセコ町内で総生産額が最も大きいのは、建設業で170億円となっています

■ 建設業、サービス業、農林水産業、公務、運輸・通信業が、主にニセコ町経済を生産面で支えている産業と言えます

出所： 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS (地域経済分析システム)を使用

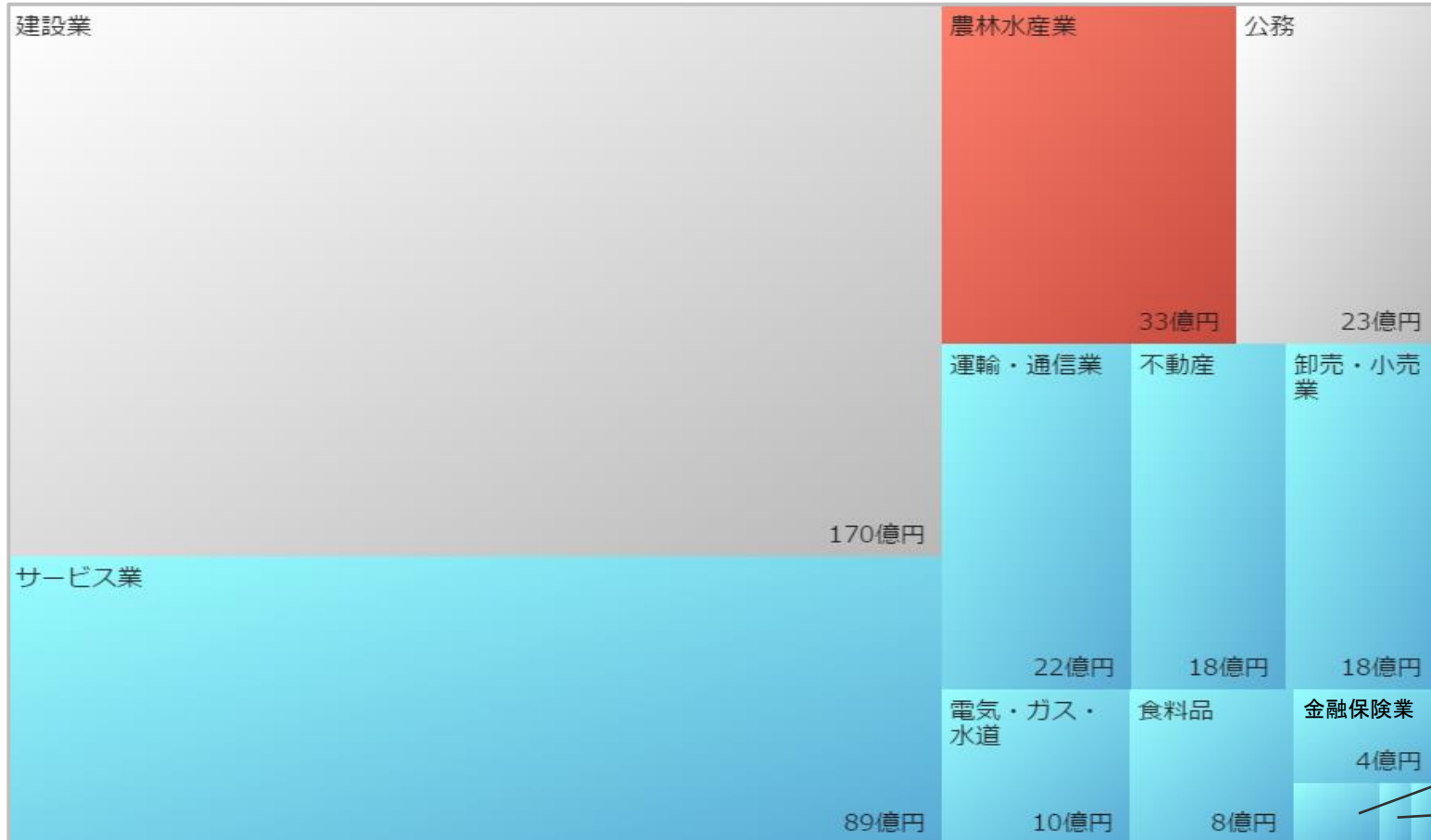
【生産分析】

ニセコ町の産業において、町外から収入を獲得しているのは農林水産業です

町外との取引状況の把握(※図内の金額は総生産額)

町外から収入を得ている産業 (赤)

町外への支出が多い産業 (青)



■ 町外との取引状況を把握することで、町外から収入を得ている産業、町外への支出が多い産業の把握ができます (※移出入収支額については次頁参照)

■ ニセコ町において、町外から収入を獲得している産業は、農林水産業です

■ 農林水産業(建設業、公務除く)以外の産業は、町外への支出額が町外からの収入額を上回っており、町外へお金が流出していることが分かります

窯業・土石製品
2億円
鉱業
1億円
その他の製造業
1億円

注1) 移出入収支とは、域外への移出・輸出に伴う収入額から、域外からの移入・輸入に伴う支出額を差し引いたもので、プラスの場合は域外からの収入の獲得を、マイナスの場合は域外への収入の流出を意味します

注2) 「地域経済計算」において建設業と公務については、域外との移出入は想定されていません(灰色でカラー)

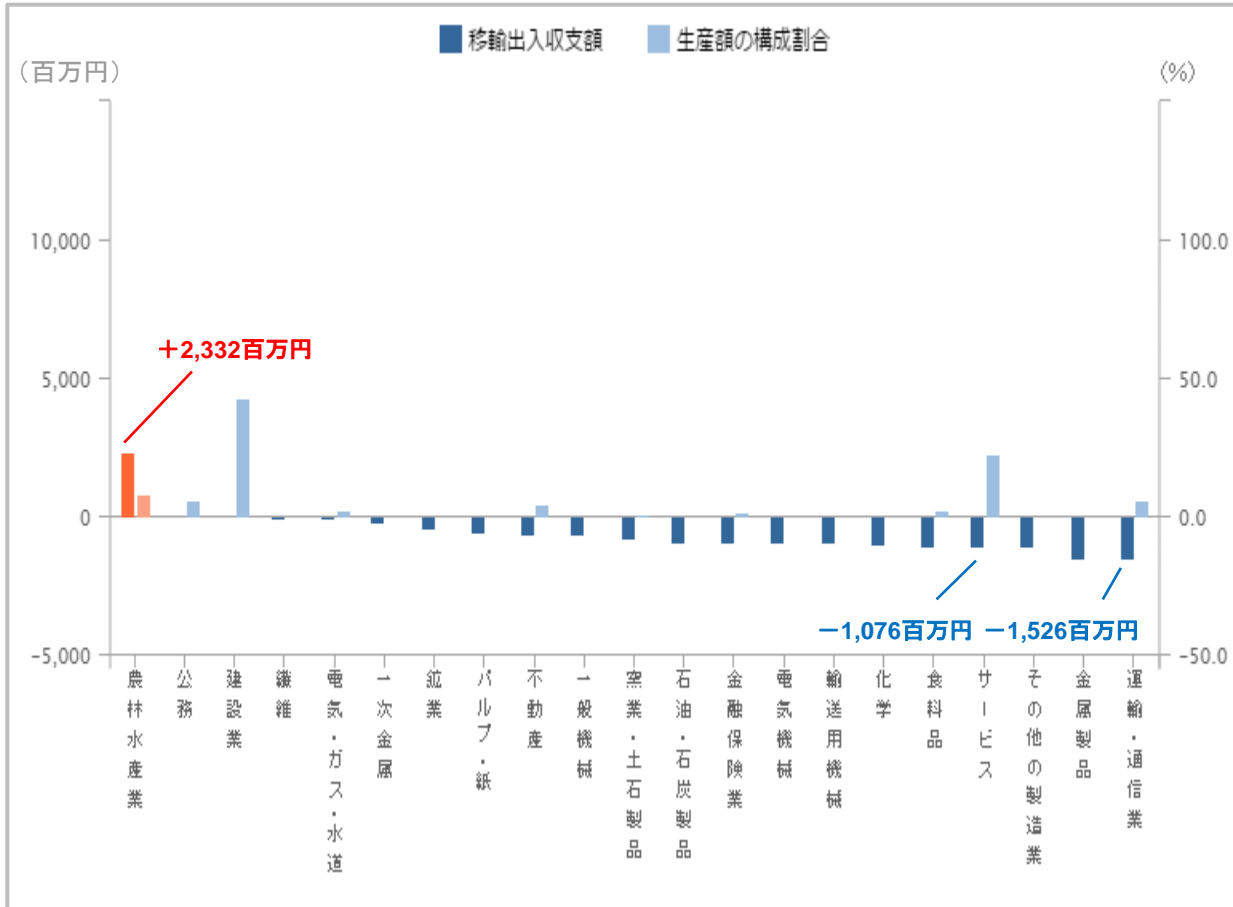
出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】

農林水産業が町外から獲得している収入額は、約23億円です

町外との取引状況の把握(産業別移輸出入収支額)



- 移輸出入収支額を把握することで、ニセコ町の産業のうち、町外から収入を獲得している産業及び町外への支出が多い産業がそれぞれ分かります
- ニセコ町の産業の中において、町外から収入を獲得している産業は農林水産業であり、その収入額は2,332百万円です
- 一方で、農林水産業以外(建設業、公務除く)は町外への支出額が町外からの収入額を上回っており、最も支出額が大きいのは、運輸・通信業でその支出額は1,526百万円です
- サービス業はニセコ町の産業に占める生産額の構成割合は高くなっていますが(主要産業の1つ)、移動輸出入額をみると、町外への支出額が1,076百万円に及びます

注) 移輸出入収支とは、域外への移出・輸出に伴う収入額から、域外からの移入・輸入に伴う支出額を差し引いたもので、プラスの場合は 域外からのお金の獲得を、マイナスの場合は域外へのお金の流出を意味します

出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】北海道内各自治体の1次産業の一人当たり付加価値額は、全国で上位に位置しています

第1次産業の比較(北海道内)

	ニセコ町	倶知安町	蘭越町	函館市	小樽市	苫小牧市
付加価値額	18億円	28億円	27億円	157億円	27億円	37億円
従業者数	491人	756人	756人	4343人	761人	1231人
一人当たり付加価値額	369万円	369万円	368万円	346万円	362万円	343万円
順位(全国)	151位	100位	163位	251位	220位	256位

- ニセコ町の第1次産業の一人当たり付加価値額は369万円であり、全国で見ると151位となっています
- 北海道内の他の自治体を見ると、各自治体とも全国の自治体の中における一人当たり付加価値額は上位に位置しています

出所：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)※RESAS(地域経済分析システム)を使用、国勢調査(2010年)

ニセコ町の主要農業生産物

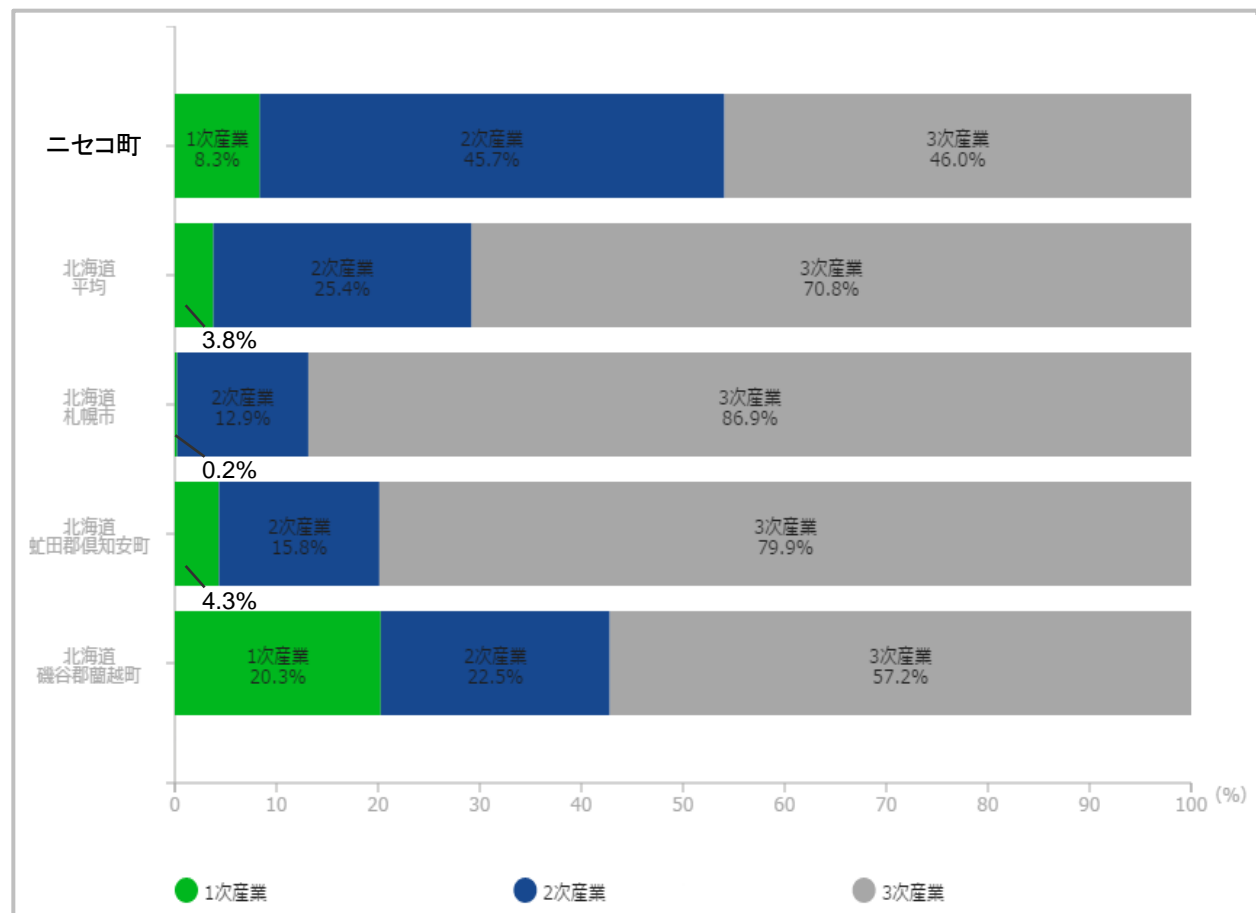
総産出額(千万円)	米	豆類	いも類	野菜	乳用牛	乳用牛うち生乳
229	40	18	40	64	40	32

出所：農林水産省「生産農業所得統計(2006年)」

【生産分析】

ニセコ町は北海道平均と比較して、2次産業の構成割合が高くなっています

産業構成割合の比較(総生産額)



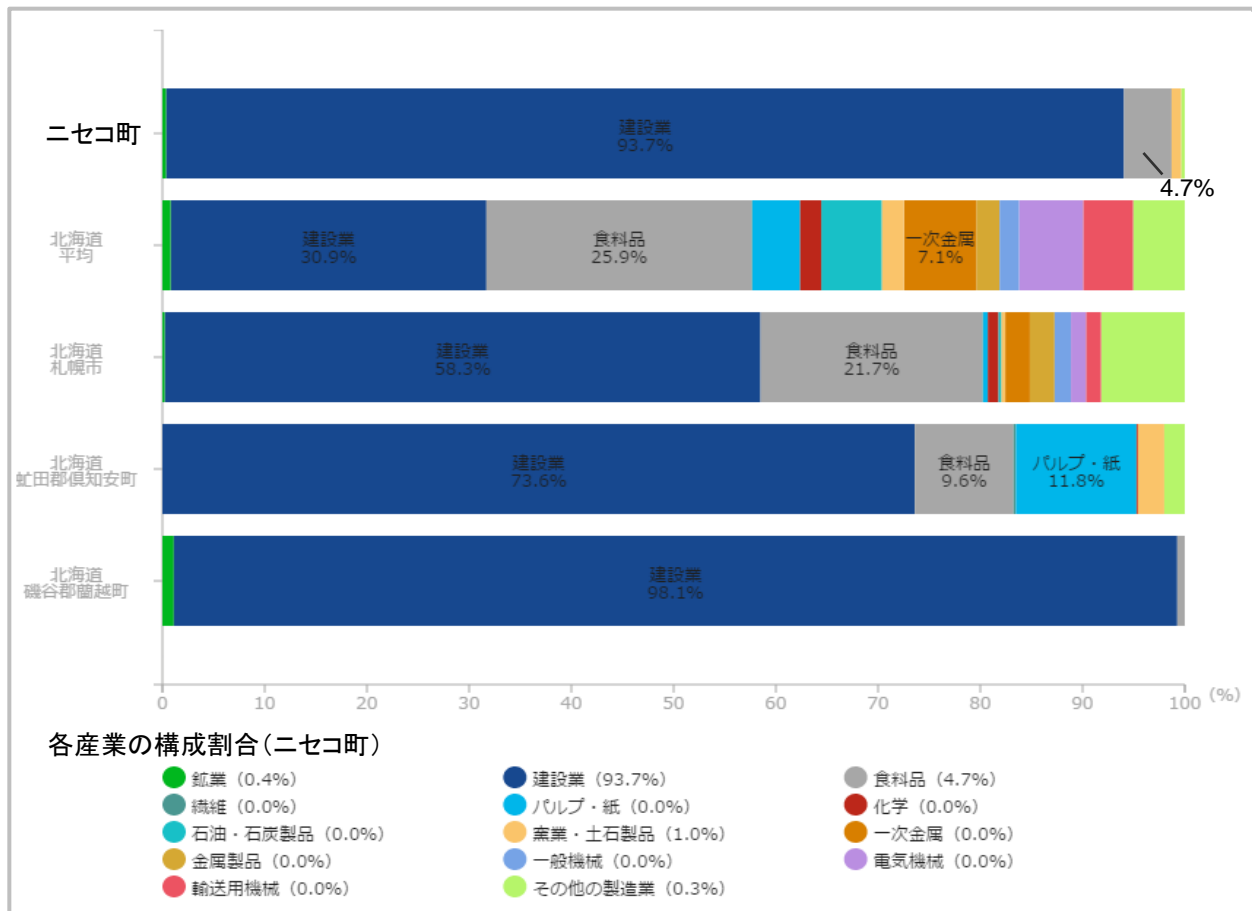
- 総生産額の構成割合を道内で比較した場合、ニセコ町は北海道の平均と比較して2次産業の構成割合が高くなっています
- 近隣の倶知安町、蘭越町と比較しても、2次産業の割合が高く、一方で、2町と比較して3次産業の割合が低くなっています
- 2次産業の割合が高い要因としては、ニセコ町の産業構成において、建設業が最も構成割合が高くなっていることが考えられます

出所：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】2次産業においてニセコ町は、北海道平均と比較して建設業の占める割合が大きくなっています

2次産業__産業構成割合の比較(総生産額)



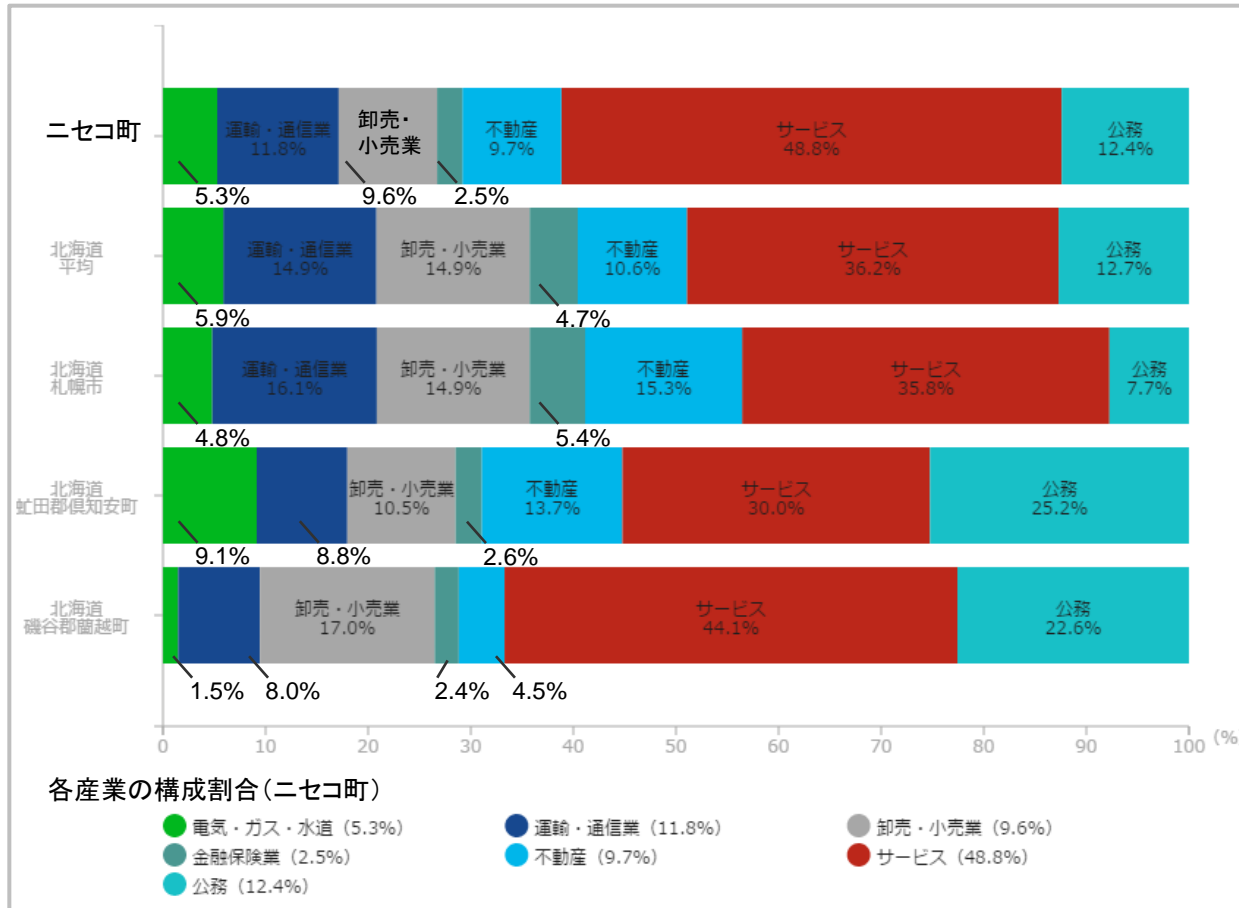
- ニセコ町の2次産業では、建設業がその大部分を占めています
- 北海道平均と比較しても建設業が占める割合は大きく、一方で食料品の占める割合は小さくなっています
- 近隣の倶知安町、蘭越町と比較してみると、蘭越町とは建設業、食料品の割合の大きさが類似しています。倶知安町では、パルプ・紙の2次産業に占める割合が11.8%と大きく、また食料品の占める割合もニセコ町と比べて大きくなっています

出所：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】3次産業においてニセコ町は、北海道平均と比較して、サービス業が占める割合が大きい一方で、運輸・通信業、卸売・小売業は小さくなっています

3次産業__産業構成割合の比較(総生産額)



- ニセコ町の3次産業では、サービス業がその半分近くを占めています
- 北海道平均と比較してもサービス業が占める割合は大きく、一方で運輸・通信業、卸売・小売業の占める割合は小さくなっています
- 近隣の倶知安町、蘭越町と比較してみると、ニセコ町は両町よりも公務、卸売・小売業の占める割合が小さくなっています。一方でサービス業が占める割合は両町と比較しても、一番大きくなっています

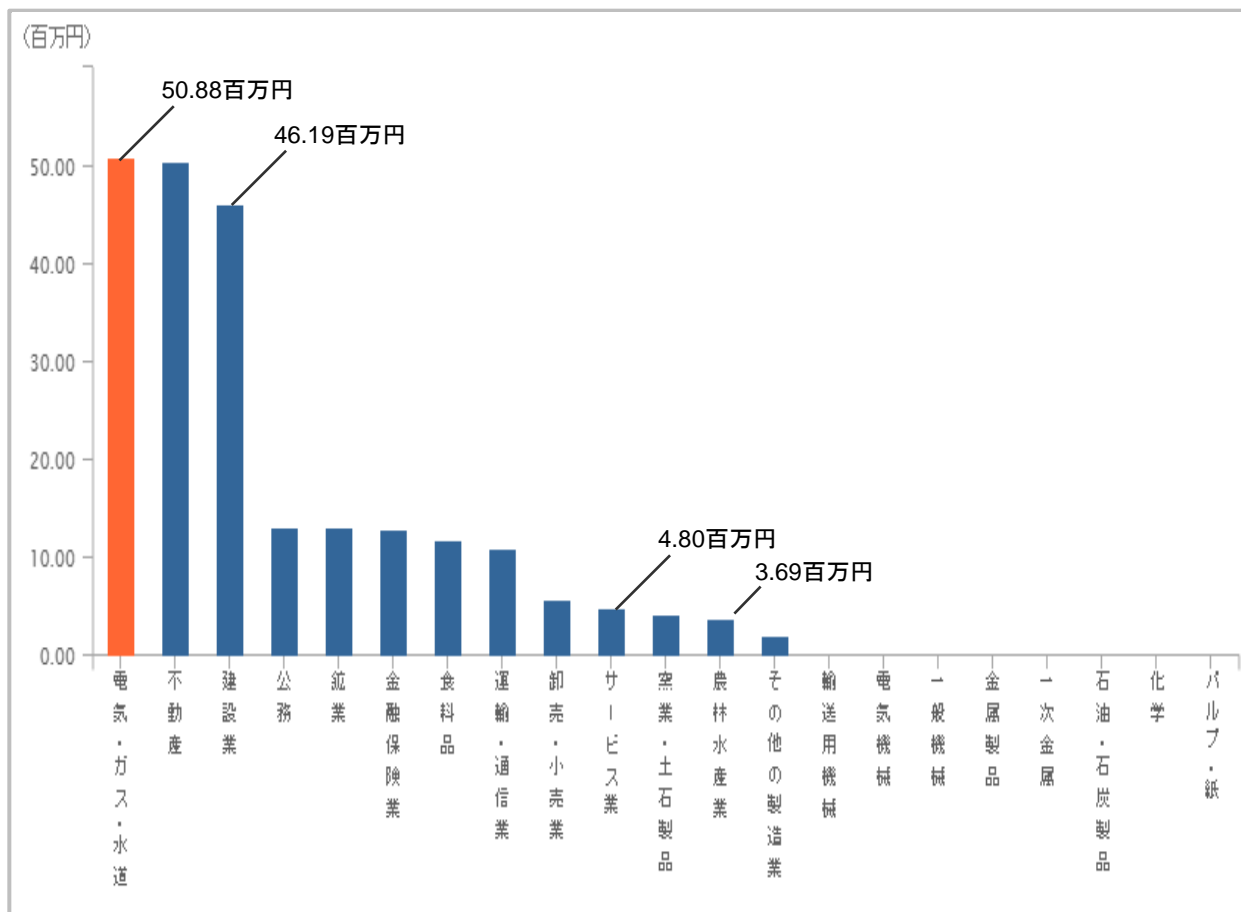
出所：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】

ニセコ町の産業で最も一人当たり付加価値額が高いのは、電気・ガス・水道です

一人当たり付加価値額*



- ニセコ町の産業においては、電気・ガス・水道が最も一人当たり付加価値額が高く、労働生産性が高いといえます
- ニセコ町の主要産業の1つであるサービス業の一人当たり付加価値額は4.80百万円と、他の産業と比較して低くなっています
- 農林水産業も主要産業の1つですが、サービス業同様に一人当たり付加価値額は3.69百万円と、低くなっています

注) 一人当たり付加価値額とは、従業者一人当たりの付加価値額であり、労働生産性を意味します。労働生産性が高いほど、効率的で効果的な労働投下が行われているといえます

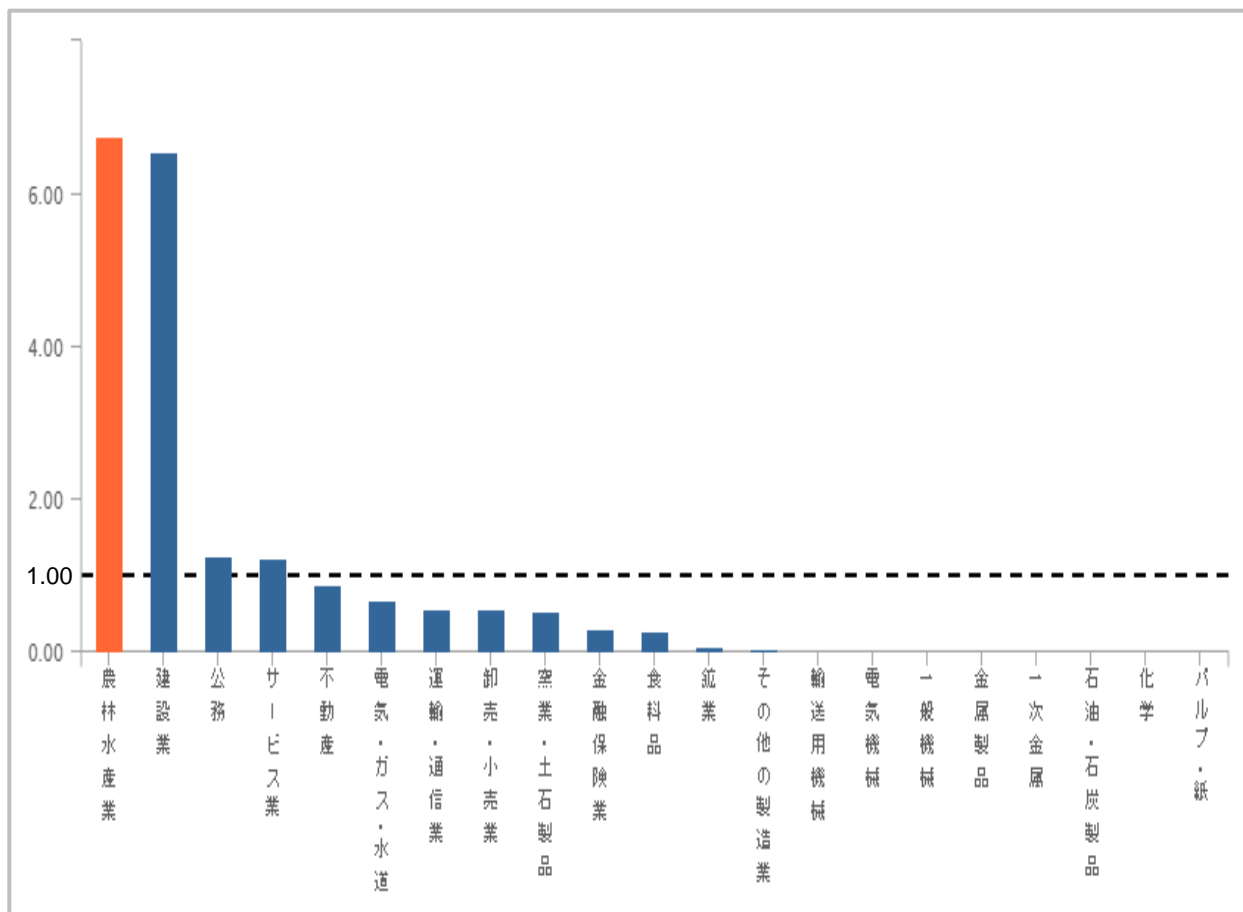
出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】

ニセコ町は、全国と比較して、主に農林水産業と建設業の集積がなされています

修正特化係数*__付加価値額



- ニセコ町は、全国の他地域と比較して、農林水産業、建設業、公務、サービス業が集積しています
- その中でも特に、農林水産業と建設業の集積度合いが高く、ニセコ町内において強みのある産業といえます

注) 修正特化係数とは、特化係数を日本全国の各産業の輸出入の状況で重みづけを施したもの。各産業が全国と比較して集積している場合は「1」以上となり、集積していない場合は「1」以下となります

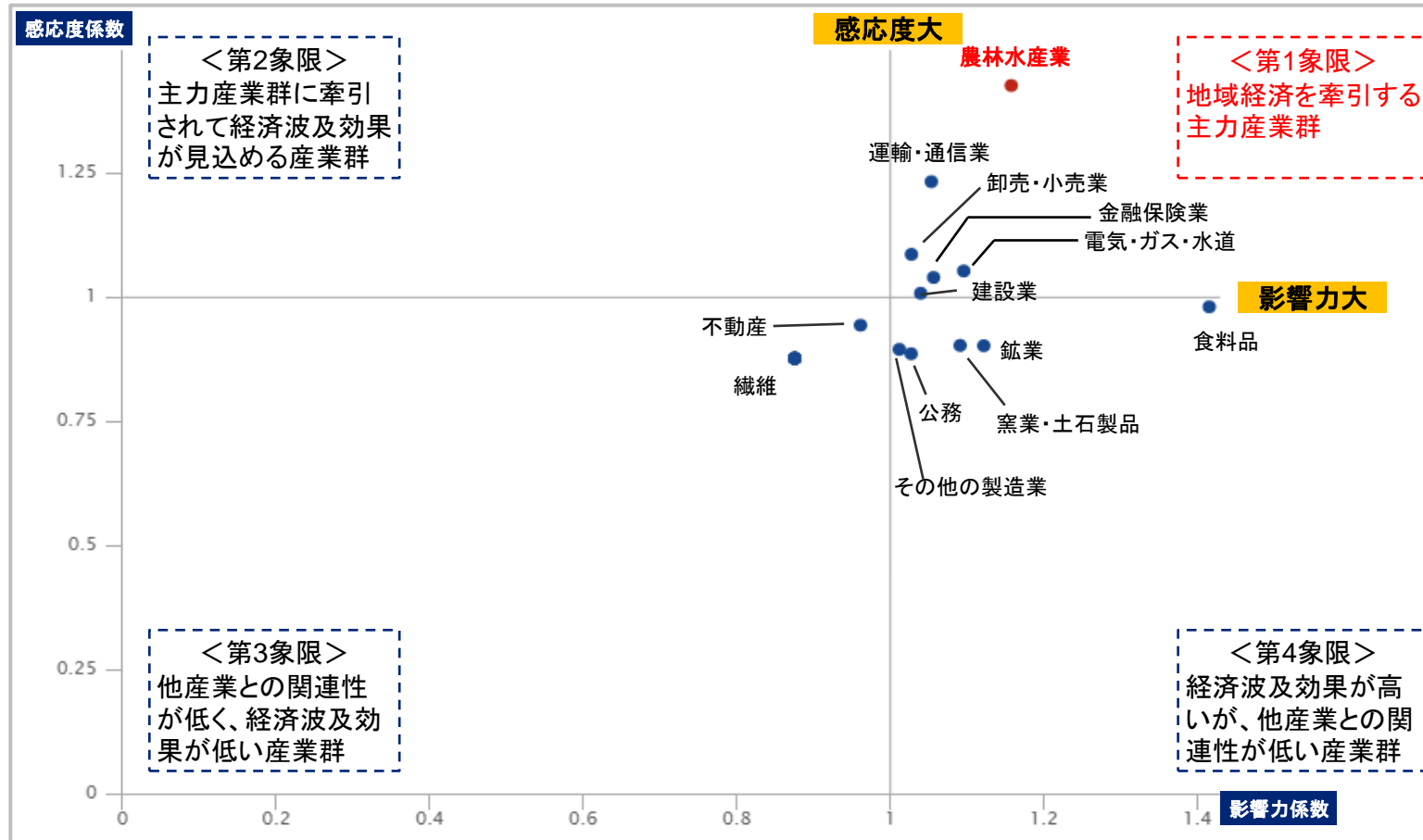
出所: 環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【生産分析】

ニセコ町においては、農林水産業が地域経済を牽引していると考えられます

影響力*・感応度**分析



■ 影響力・感応度分析により、ニセコ町内の産業間の取引やニセコ町内での取引の割合から、地域で中核となっている産業を把握できます

■ ニセコ町においては、農林水産業が地域経済を牽引している産業と言えます

■ 第1象限にある産業は、産業間の取引構造からみて産業間の取引が多く、地域の中核となっていると考えられます

注1) 影響力(係数)とは、当該産業に対する新たな需要が全産業(調達先)に与える影響の強さを示します。数値が大きいほど、その産業の調達先が地域内に多いということになります

注2) 感応度(係数)とは、全産業(販売先)に対する新たな需要による当該産業が受ける影響の強さを示します。数値が大きいほど、その産業の販売先が地域内に多いということになります

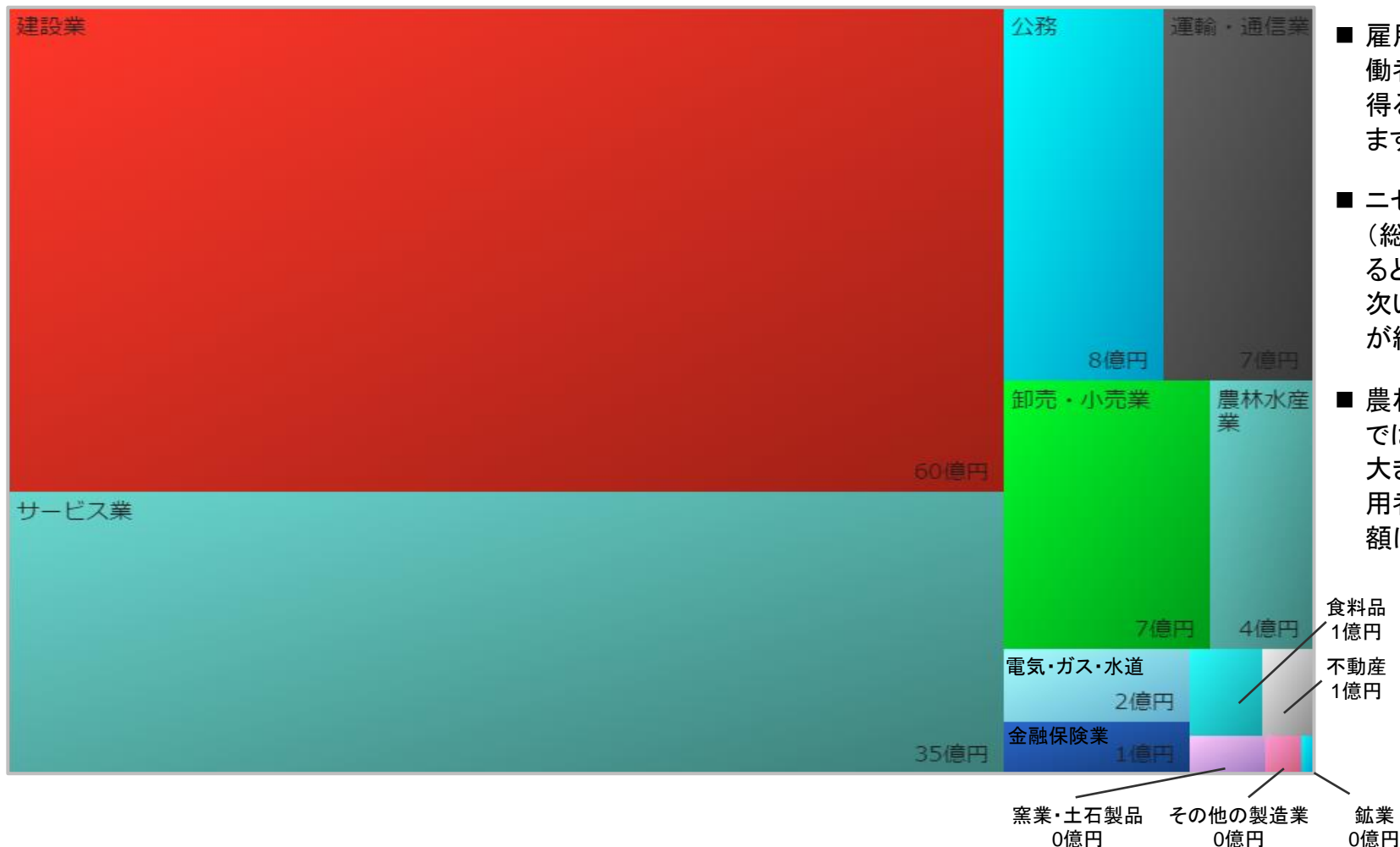
出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

分配分析

【分配分析】

産業別の雇用者所得は、建設業が最も大きくなっています

雇用者所得(総額)の構成



■ 雇用者所得とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等を指します

■ ニセコ町の雇用者所得(総額)の構成をみると、建設業が最も多く、次いでサービス業、公務が続きます

■ 農林水産業は総生産額ではニセコ町で3番目に大きい産業でしたが、雇用者所得でみると、構成額は小さくなっています

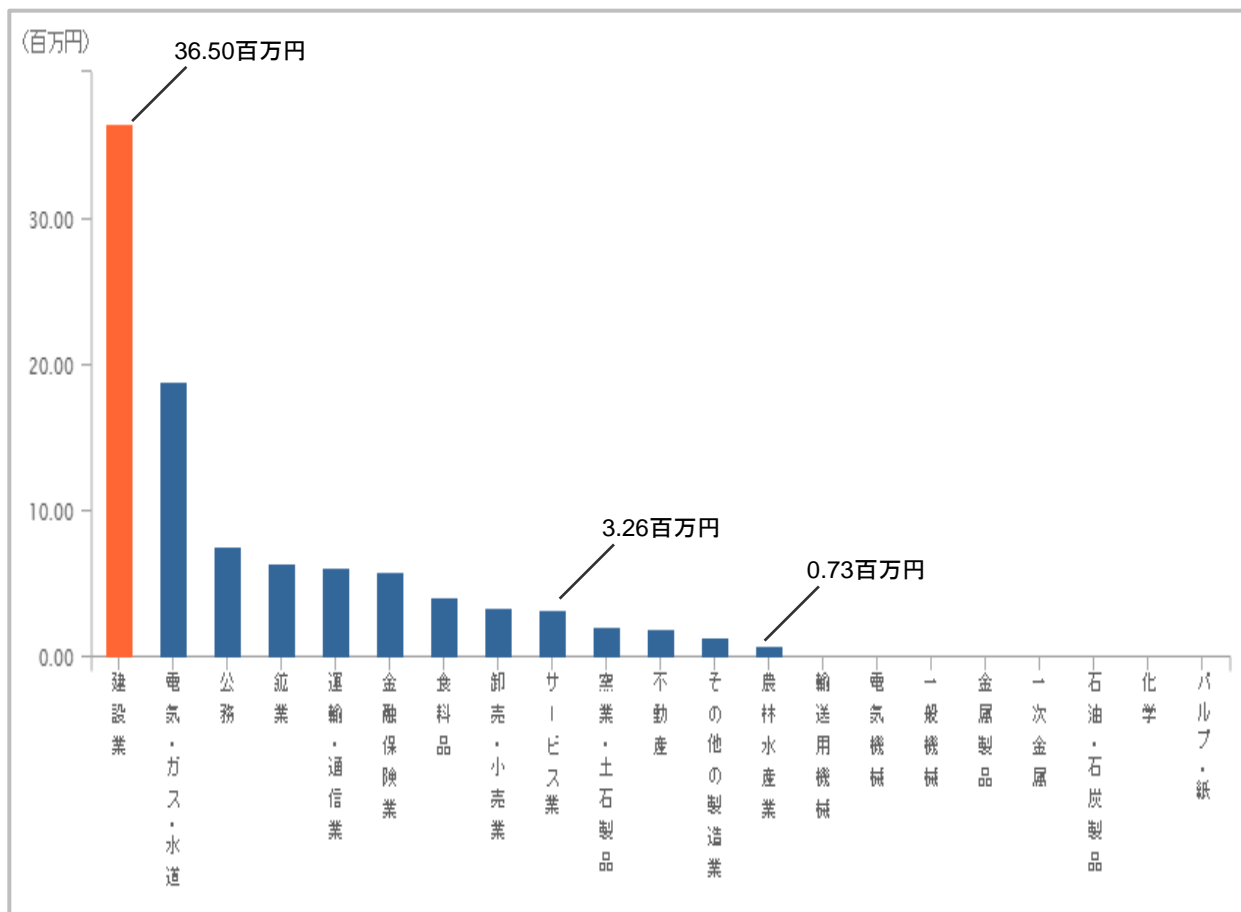
出所： 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS (地域経済分析システム)を使用

【分配分析】

ニセコ町において一人当たり雇用者所得が最も高いのは、建設業となっています

産業別一人当たり雇用者所得*



- ニセコ町の一人当たり雇用者所得を産業別に見てみると、建設業が36.50百万円と最も高くなっています
- 建設業の一人当たり雇用者所得は、全国で2位（全国1,741市町村において）、北海道で1位となっています
- ニセコ町の主要産業の1つであるサービス業の一人当たり雇用者所得は、3.26百万円と他の産業と比較しても低くなっています

注) 産業別一人当たり雇用者所得＝当該産業雇用者所得÷当該産業従業者数

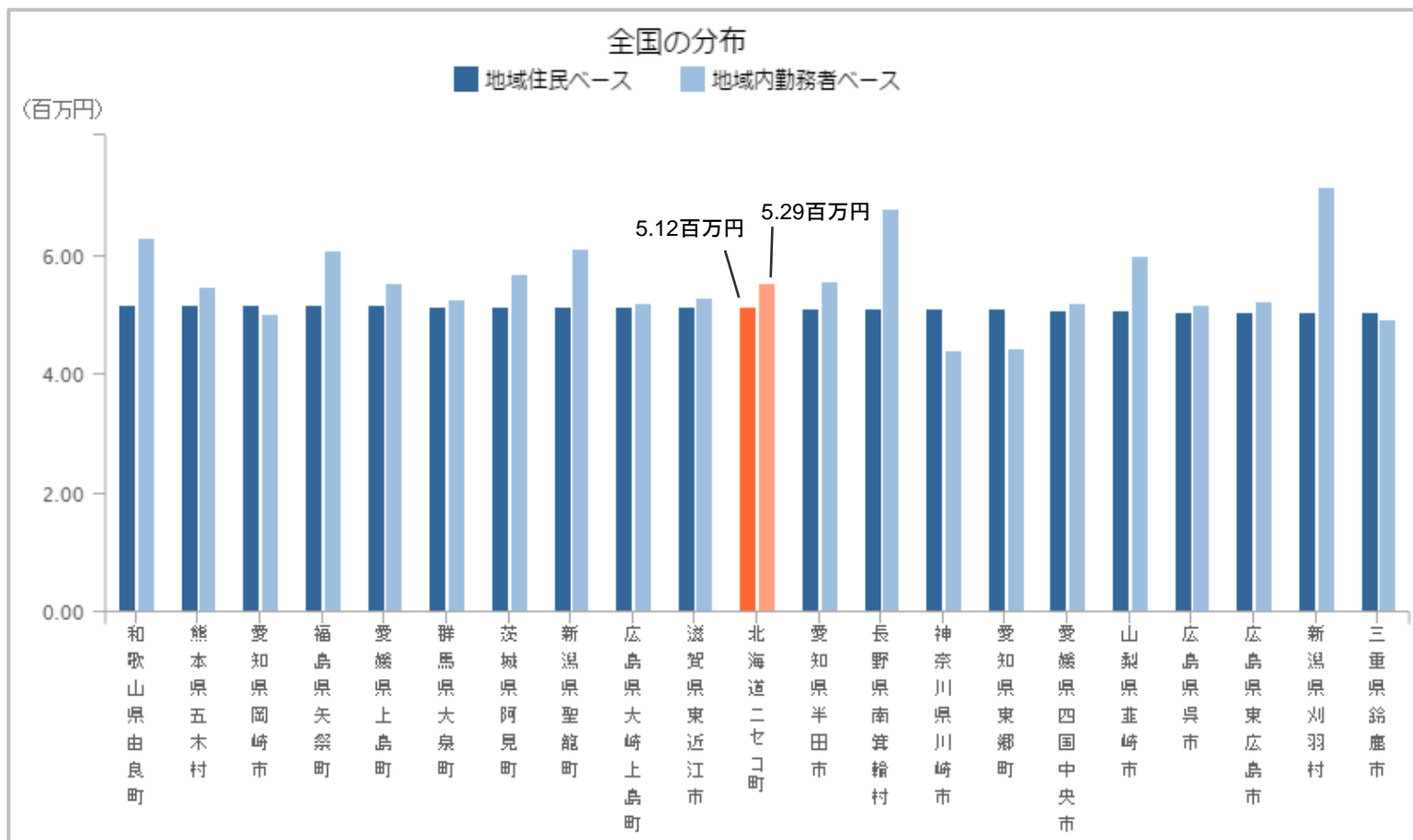
出所：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

※RESAS(地域経済分析システム)を使用

【分配分析】

ニセコ町の一人当たり雇用者所得は512万円で、全国では117位です

一人当たり雇用者所得(地域住民ベース*で見た位置づけ、全国)



■ ニセコ町の一人当たり雇用者所得(地域住民ベース)は512万円で、全国のお市町村と比較しても117位と優位となっています

■ 地域内勤務者ベースでみた雇用者所得は529万円と、地域住民ベースの雇用者所得より高く、ニセコ町から町外に雇用者所得が流出しています

注1) 「雇用者所得(地域住民ベース)」とは、勤務地を問わず、地域に暮らす住民等に支払われる雇用者所得をいいます

一人当たり雇用者所得(地域住民ベース) = 雇用者所得(地域住民ベース) ÷ 地域の就業者数

注2) 「雇用者所得(地域内勤務者ベース)」とは、居住地を問わず、地域内で働く勤務者等に支払われる雇用者所得をいいます

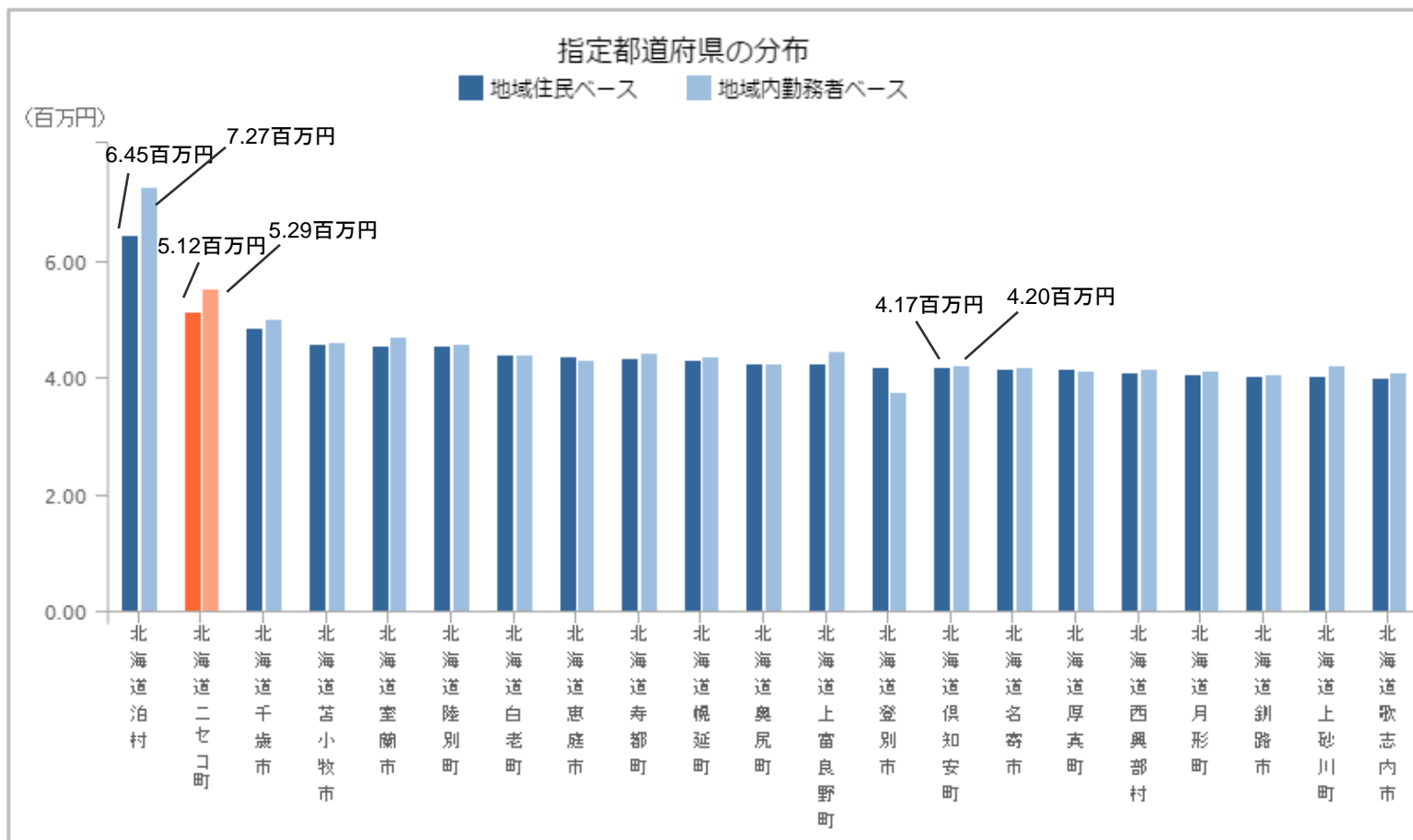
一人当たり雇用者所得(地域内勤務者ベース) = 雇用者所得(地域内勤務者ベース) ÷ 地域の従業者数

出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

【分配分析】

ニセコ町の一人当たり雇用者所得は512万円で、北海道内では2位です

一人当たり雇用者所得(地域住民ベース*で見た位置づけ、北海道)



■ ニセコ町の一人当たり雇用者所得(地域住民ベース)は512万円で、北海道内の市町村の中では2位となっています

注1) 「雇用者所得(地域住民ベース)」とは、勤務地を問わず、地域に暮らす住民等に支払われる雇用者所得をいいます

一人当たり雇用者所得(地域住民ベース) = 雇用者所得(地域住民ベース) ÷ 地域の就業者数

注2) 「雇用者所得(地域内勤務者ベース)」とは、居住地を問わず、地域内で働く勤務者等に支払われる雇用者所得をいいます

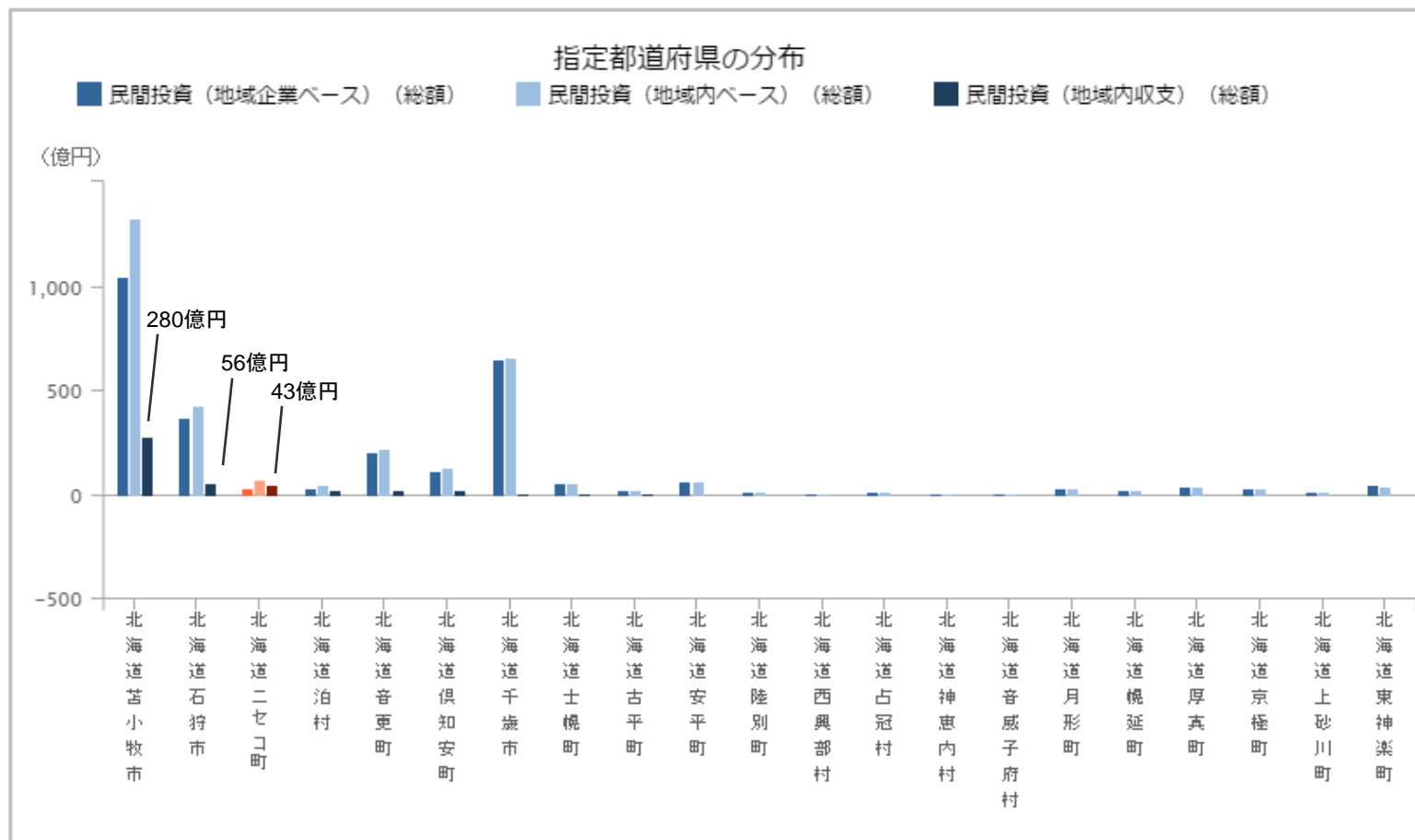
一人当たり雇用者所得(地域内勤務者ベース) = 雇用者所得(地域内勤務者ベース) ÷ 地域の従業者数

出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)

支出分析

【支出分析】北海道内では、苫小牧市、石狩市に次いで、域外からの民間投資の獲得額が大きくなっています

民間投資総額(地域内収支*で見た位置づけ、北海道)



■ 左図は民間投資額を地域内収支で大きい順に北海道内の市町村を並べた場合の、ニセコ町の位置づけです

注1: 民間投資(地域企業ベース)とは、どこで投資したかを問わず、地域の企業等が支出した民間投資をいいます

注2: 民間投資(地域内ベース)とは、当該地域内に支出された民間投資をいいます

注3: 民間投資(地域内収支) = 民間投資(地域内ベース) - 民間投資(地域企業ベース)

出所: 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託生産)